

教育

提案・意見

中学校修学旅行の見直し（回答:6月28日時点）

市長にどうかお目通し頂けますよう切にお願い申し上げます。

伊勢市立中学校の修学旅行について。生徒は一生に一度の修学旅行を楽しみにしています。皆でディズニーランドに行きたいと。コロナ禍により、それも難しいが続いています。

今年は、関東方面への旅行がほぼ決まっていたましたが、納得のいく説明のないまま、教育委員会からの一方的な決定事項により、和歌山への行先変更を強制されています。現在、生徒は悲痛の叫びをあげていますが、中学校の先生のお力では教育委員会の動きを止めることも難しい状況です。

コロナワクチン接種が進んでいない昨年以前なら、まだ納得せざるをえないですが、世の中は政府を挙げてwithコロナにかじをきっています。オリンピックでは海外から沢山の関係者と選手が来日しました。政府もそれは失敗ではなく成功と表明しています。最近では、海外からの渡航者も受け入れます。消毒液やマスクの欠品も解消されています。マスクは着用すらやめる動きです。今月にはスペインの対外行動庁長官が三重県を訪問し、知事とも会談しています。知事はスペインに伺いたいとのコメントも出されています。

こういう状況の中、中学生の修学旅行だけに非常に重たい制限をかけることに、生徒、父兄ともにまったくもって納得できません。

文化祭、運動会、クラブ活動など全てに対して我慢してきた中学生にどうぞ、遠距離、できれば東京ディズニーランドへの修学旅行の思い出作りの機会を与えてください。

教育委員会の一方的で説明のない決定で、生徒のせめてもの楽しみの機会を奪わないでください。本件、教育委員会や関連部署へお願いしても、圧力に負けてしまうといけないので、そういったことに負けない部署への提言としてお受けください。

近隣の中学校では、沖縄県に行ったり、山梨と東京を生徒に選ばせたりと、withコロナを実践しています。伊勢市の中学生だけがなぜ悔しい思いをしなければならないのでしょうか。

教育委員会ファーストではなく、生徒ファーストでどうか考えてあげてください。なにとぞ、市民の悲痛の叫びを受けてめて頂けますようご協力をお願い致します。事は急を要します。

回答

伊勢市教育委員会としましては、修学旅行の実施は、安全に実施できることを第一に考えております。現在、市内、県内の新型コロナウイルス感染の状況は、改善はしているものの十分改善しているとまでは言えない状況です。また、伊勢市の児童生徒につきましても、増減の波を繰り返しながら感染が続いている状況にあります。

修学旅行につきましても、各校の準備等を考えると2カ月から3カ月前までには決定しなければならず、全国的に感染状況が悪化したとしても中止とならないように、今までの実績として安全に実施することができた東紀州及び和歌山県を行先として指定させていただきました。東紀州及び和歌山県には見るべき自然や施設もあり、各学校の取組のもと、充実した修学旅行が実施できると考えております。

修学旅行を良い思い出として残してあげたい気持ちは、同じように持っております。貴重なご意見として、しっかりと受け止めさせていただきますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

担当課

学校教育課（2022年6月回答）〔6/27～7/1〕